

## 2019年度事業報告

### I 事業総括

当財団は、サンスターグループの社是「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」に寄与すべく、2019年度の事業計画に従って、以下の事業を推進しました。

#### 1. 実施事業（公益活動）

学術講演事業では、高槻市民の「健康度」と「幸福度」の向上を図ることを目的に2017年から開催しております高槻市民いきいき健康講座を2019年度も夏と秋の2回開催しました。

助成事業の金田博夫研究助成基金は2018年に発足10年を迎え、これまでの実績と運営を多角的に評価し直すとともに今後のあり方について検討するため、2018・2019年度の募集を一旦中断して新しいプログラムの策定に取り組んでまいりました。そのような中、留学助成については留学先を拡大することと、受給者の対象を明確にして(原則として歯科・その他の学位取得者1名、医科の学位取得者1名)、2020年度から再開することが理事会で承認されました。さらに、新しいプログラムとして、若手歯科医師の育成を目的としたシンポジウムを開催するための準備を開始することも承認されました。

その他の助成事業では、2019年度も公益社団法人 日本歯科衛生学会 学術賞(サンスター財団賞)に協賛しました。

調査研究事業では、2019年度も歯科専門分野の学会や講演会に当財団の歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めるとともに、日々の業務で得られた知見をまとめ講演や学会発表を行いました。

臨床教育事業では、2019年度も歯科衛生士養成機関の実習生に対し臨地教育を行いました。

#### 2. その他事業(収益活動)

歯科健診・保健指導事業では、2019年度も産業歯科保健活動、「健康日本21」政策に即した歯科保健活動等を行いました。その中で、2018年度に引き続き経済産業省主催のタイ・マレーシアオーラルヘルスケアセミナーを事業会社と連携しながらサポートを行いました。また、2014年から公開している、当財団作成の健康サポート薬剤師向けe-ラーニングコンテンツ「薬剤師向け医・歯・薬連携に関する研修資料」は公開から累計1万人を超える人々に受講いただきました。

歯科診療事業では、2019年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として1型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。さらに、新たな取り組みとしてAIアプリケーション開発に同意を得た受診者の口腔写真の提供を行いました。

商品販売では、診療所で受付と歯科衛生士が連動して歯ブラシ処方箋を提供したり、官公庁等の公的団体に各団体の福利厚生の一環としてオーラルケア商品を販売しました。

サンスターグループ社員の健康管理を行う健康推進事業では、2017年、2018年に続いて、「健康経営優良法人2019 ホワイト500」の認定を3年連続取得しました。さらに、サンスターグループ社員の健康白書を作成し、京都大学とは引き続き心身健康道場での指導の中で行動変容を促す要因や、指導による口腔衛生指標への影響を検証するために、新たな委託研究の検討を開始しました。

財務面では、上記の事業活動により経常収益で694,338千円(計画709,677千円)、経常費用690,648千円(計画704,403千円)、当期経常増減額(税引前)は3,690千円(計画5,274千円)とな

りました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

|               | 予 算     | 実 績     | 差 異     | 前年実績    |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| 経常収益          | 709,677 | 694,338 | ▲15,339 | 698,641 |
| 経常費用          | 704,403 | 690,648 | ▲13,755 | 697,056 |
| 当期経常増減額 (税引前) | 5,274   | 3,690   | ▲1,584  | 1,585   |

## II 事業報告

### 1. 学術講演事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演)

高槻市民の「健康度」と「幸福度」の向上を図ることを目的に、第4回、第5回高槻市民いきいき健康講座「健康寿命の延伸はオーラルケアから」を大阪医科大学 看護学部講堂において開催いたしました(参加者累計 580 名)。

\* 第4回高槻市民いきいき健康講座：2019年7月20日(土)：参加者 332名

講師：近畿大学 医学部 教授 伊木 雅之先生

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長 平野 浩彦先生

\* 第5回高槻市民いきいき健康講座：2019年11月16日(土)：参加者 248名

講師：大阪医科大学 医学部 准教授 後藤 昌弘先生

静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科部長 百合草 健圭志先生

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、経常費用 2,969 千円、当期経常増減額(税引前営業利益)は▲ 2,969 千円となりました。

■財団経常収支実績 (単位：千円)

|               | 予 算    | 実 績    | 差 異  | 前年実績   |
|---------------|--------|--------|------|--------|
| 経常収益          | 0      | 0      | 0    | 0      |
| 経常費用          | 2,837  | 2,969  | 132  | 3,974  |
| 当期経常増減額 (税引前) | ▲2,837 | ▲2,969 | ▲132 | ▲3,974 |

### 2. 助成事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動)

#### (1) 金田博夫研究助成基金

2009年度から始めた金田博夫研究助成基金は、これまでに14名のハーバード大学ジョスリン糖尿病センターへの留学を支援してまいりましたが、発足10年を迎え、これまでの実績や運営を多角的に評価し直し、今後のあり方について検討するため、2018年度及び2019年度の募集を一旦中断し、新しいプログラムの策定に取り組んでまいりました。昨年の理事会において、来年度からは、渡航費及び滞在費については、従来通りの支援額を維持したうえで、ジョスリン糖尿病センターに

限定している留学先をその他の医科系・歯科系の研究機関に拡大すること、毎年度定員は2名のままで変更はありませんが、原則として、歯科・その他の学位取得者1名、医科の学位取得者1名として再開することが承認されました。さらに新しいプログラムとして、若手歯科医師の育成を目的としたシンポジウムを開催するための準備委員会を発足させることもあわせて承認されました。なお、留学中の2名に対する留学助成は予定通り実施しました。

＊（参考）金田博夫研究助成基金（海外留学助成規程）

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として2009年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費（2年間合計／11万ドル＋100万円）を支給する。なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

(<http://www.sunstar-foundation.org/aid/historical/>)

(2) 同基金のサポートによる対外発表

2015年度受給者の新城尊徳先生の論文が Journal of Periodontology に掲載されました  
Characterization of periodontitis in people with type 1 diabetes of 50 years or longer duration

Takanori Shinjo, Atsushi Ishikado, Hatice Hasturk, David M. Pober, Samantha M. Paniagua, Hetal Shah, I-Hsien Wu, Liane J. Tinsley, Motonobu Matsumoto, Hillary A. Keenan, Thomas E. Van Dyke, Robert J. Genco, George L. King  
Journal of Periodontology Vol. 90 1-11(2019)

(3) 公益社団法人 日本歯科衛生学会 学術賞（サンスター財団賞）に協賛しました。

本年度は、優秀賞1名、奨励賞3名が授賞しました。

- ・優秀賞 丸山 直美 : 刷掃指導効果の検討-三次元動作と歯垢除去効果からの解析-
- ・奨励賞 浅木 美智子 : 保育園児および保護者に対する効果的な歯科保健指導を行うための事前質問紙作成と有用性の検証
- 高野 ひろみ : 訪問看護師による在宅療養者の口腔の問題に関連した多職種連携について
- 江田 幸代 : 顆粒状清掃剤を配合した歯磨剤が日常の口腔清掃に与える影響

＊（参考）日本歯科衛生学会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し2006年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞（サンスター財団賞）と学術発表賞（公益財団法人ライオン歯科衛生研究所賞）があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金等収入 22,210 千円、留学助成金などの経常費用 24,480 千円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲ 2,270 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算    | 実 績    | 差 異     | 前年実績   |
|--------------|--------|--------|---------|--------|
| 経常収益         | 33,000 | 22,210 | ▲10,790 | 29,200 |
| 経常費用         | 34,355 | 24,480 | ▲9,875  | 30,857 |
| 当期経常増減額（税引前） | ▲1,355 | ▲2,270 | ▲915    | ▲1,657 |

3. 調査研究事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究）

日本歯科衛生学会、日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に、当財団の歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床や予防業務で得られた知見をまとめ、講演や学会発表を行いました（その他活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)～(5)」を参照）。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、経常収益 540 千円、経常費用 4,973 千円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲4,433 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算    | 実 績    | 差 異    | 前年実績   |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 経常収益         | 0      | 540    | 540    | 1,260  |
| 経常費用         | 6,095  | 4,973  | ▲1,122 | 5,185  |
| 当期経常増減額（税引前） | ▲6,095 | ▲4,433 | 1,662  | ▲3,925 |

4. 臨床教育事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育）

歯科衛生士養成機関 5 校からの実習生計 18 名に対し、のべ 156 日間の臨地教育を行いました。

以上の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 198 千円、経常費用は 8,410 千円となり、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲8,212 千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算    | 実 績    | 差 異    | 前年実績   |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 経常収益         | 0      | 198    | 198    | 148    |
| 経常費用         | 9,747  | 8,410  | ▲1,337 | 9,148  |
| 当期経常増減額（税引前） | ▲9,747 | ▲8,212 | 1,535  | ▲9,000 |

## 5. 歯科健診・保健指導事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 其他会計 ⑤歯科健診保健指導）

産業歯科健診活動・歯科保健活動の件数および対象者数は560件、84,409人となりました（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照）。

### (1) 産業歯科保健活動

本年度の歯科健診実施健保（事業主による実施を含む）は32団体で昨年と同数でしたが、受診人数は前年より約2,600人増え、総受診者は31,866人となりました。

歯科に関する問診の回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、個別化された保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない歯科保健プログラム」（おロケア30daysトライアル）は5健保に採用いただきました。受講者は前年度のほぼ2倍の14,911人となりました。

### (2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

サンスター株式会社からの業務委託により、「健康日本21」政策に即した歯科保健活動を全国153件、18,127人に実施しました。主な活動としては、量販店等に来店される親子連れを対象にした活動、事業会社の得意先のイベント等での活動、企業の社員を対象とした活動、病院職員・患者対象とした活動等があり、その内容は口腔清掃指導だけにとどまらず、口腔保健の重要性、歯周病と全身疾患との関わり、オーラルフレイル予防、糖尿病患者向けのオーラルケア等多岐に亘りました。

### (3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

乳幼児およびその保護者、児童、生徒を対象に、全国176件、19,505人に実施しました。主としてそれぞれの成長段階に合わせた口腔清掃指導、フッ化物塗布、フッ化物洗口等を実施しました。

上記とは別に、サンスター株式会社から委託された事業として、歯科医師会、教育委員会および学校保健会の歯科保健事業への参画、近畿エリアの保育園および幼稚園の園児に対する紙芝居等を用いた歯科保健活動、マレーシアの日本人学校の幼児、児童、教員および保護者に対する歯科保健指導等を行いました。

### (4) 健康サポート薬剤師向け e-ラーニングコンテンツの提供

2014年から健康サポート薬局研修実施機関である日本保険薬局協会の研修システムで公開している当財団作成のオーラルフレイル患者に対する薬剤師の対応などの情報を盛り込んだ「薬剤師向け医・歯・薬連携に関する研修」の受講者が、2019年8月に1万人を超え多くの薬局で患者・家族に対する相談に活用されています。

以上の活動の結果、歯科健診・保健指導事業における事業収支は、事業収益204,234千円、経常費用176,824千円となり、当期経常増減額（税引前利益）は27,410千円となりました。

#### ■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算     | 実 績     | 差 異    | 前年実績    |
|--------------|---------|---------|--------|---------|
| 経常収益         | 177,940 | 204,234 | 26,294 | 184,581 |
| 経常費用         | 167,887 | 176,824 | 8,937  | 158,929 |
| 当期経常増減額（税引前） | 10,053  | 27,410  | 17,357 | 25,652  |

## 6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）

### (1) 歯科診療

本年度の総受診者数は 24,542 人、そのうち新患数は 917 人となりました。また、本年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ 90 人の 1 型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。

### (2) 研究委託

サンスター株式会社の歯周治療製品に対する臨床評価、小児発達期研究テーマに関する臨床データの提供などを行いました。本年度は、新たな取り組みとして AI アプリケーション開発に同意を得た受診者の口腔写真の提供を行いました。

### (3) 商品販売

千里診療所での受診者向け窓口商品販売では、2018 年と同様に商品展示スペースや待合室ディスプレイを活用した商品紹介を行うとともに、受付・歯科衛生士が連動し、受診者に歯ブラシ処方箋を提供するなどの取り組みを行いました。

以上の活動の結果、歯科診療事業の事業収支は、284,749 千円の事業収益に対し、経常費用 273,782 千円、当期経常増減額（税引前利益）は 10,967 千円となりました。

#### ■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算     | 実 績     | 差 異     | 前年実績    |
|--------------|---------|---------|---------|---------|
| 経常収益         | 310,763 | 284,749 | ▲26,014 | 304,145 |
| 経常費用         | 271,785 | 273,782 | 1,997   | 277,301 |
| 当期経常増減額（税引前） | 38,978  | 10,967  | ▲28,011 | 26,844  |

## 7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案や斡旋を積極的に推進してまいりましたが、官公庁の保健事業の見直しや、薬品卸流通への移行が多く、本年度の事業収支は 9,306 千円と計画を下回る結果となりました。仕入原価等の経常費用は 6,451 千円、当期経常増減額（税引前利益）は 2,855 千円となりました。

#### ■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算    | 実 績   | 差 異    | 前年実績  |
|--------------|--------|-------|--------|-------|
| 経常収益         | 13,300 | 9,306 | ▲3,994 | 8,625 |
| 経常費用         | 6,724  | 6,451 | ▲273   | 4,904 |
| 当期経常増減額（税引前） | 6,576  | 2,855 | ▲3,721 | 3,721 |

## 8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

本事業については、社外への外部展開を図るとともに、サンスターグループ社員の健康度の評価と今後の課題について分析とまとめを行いました。サンスターグループ社員の健康度は他社と比較して良好ではあるものの、他社と同様に、加齢にともない健康な人の割合は減りつつあることが分かりました。そのような中、2020年度の事業計画で掲げた健康意識の向上を目的とした体力測定や禁煙プログラムの試行事業を行いました。また、ストレスチェックや生産性意識の計測をはじめ、社員のメンタルケアの取り組みも継続して行うとともに、ラインケアセミナーも実施しました。

\* 生産性意識とは、プレゼンティーズムともいわれ体調不良（けがや病気、精神的な症状も含む）で本来発揮できるはずのパフォーマンスや生産性を発揮できないまま仕事に臨んでいる状態のことです。

### (1) 企業のイメージアップへの貢献

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2019 ホワイト 500」の認定を取得し、持続可能な企業の「健康経営」活動および企業イメージアップに貢献しました。2017年、2018年に続き、3年連続の認定となりました。

\* 「健康経営優良法人 2019 ホワイト 500」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人を認定する制度です。

### (2) 健康保険組合とのコラボヘルスの実施

サンスター健康保険組合から土室心身健康道場の運営委託を受け、新入社員研修、35歳時の節目研修、特定保健指導対象者へのQOL改善研修を通して社員の健康増進に取り組みました。特にQOL改善研修の対象者を積極的支援だけでなく動機付け支援にも広げるとともに、2泊3日の基本コース以外に1泊2日コースなどの短縮型研修も試験的に導入し、参加者の拡大に取り組みました。

\* 動機付け支援・積極的支援とは、特定健診（メタボリックシンドロームの項目を中心とした健診）の結果から、生活習慣改善の必要度に合わせて行う保健指導の名称です。

### (3) 土室心身健康道場を活用したエビデンスの取得

京都大学への宿泊型健康指導プログラムの効果に関する委託研究が昨年終了しました。引き続き当該プログラムについて行動変容を促す要因や口腔衛生指標への影響を検証するため、京都大学と新たな委託研究の検討を始めました。

### (4) 土室心身健康道場における宿泊型健康指導プログラムの外部展開

土室心身健康道場において、事業会社等と連携し社外のお客様を対象に「サンスター健康道場体験会」を6回開催しました（参加者42名）。さらに高槻市食生活改善推進協議会等から依頼を受け地域住民への見学会を2回開催し、事業会社の食品事業の紹介等を行いました（参加者25名）。

以上の活動の結果、健康推進事業の事業収支は、サンスターグループ各社及びサンスター健康保険組合からの業務委託収入156,547千円、産業医・産業精神衛生医や保健師の経常費用139,198千

円、当期経常増減額（税引前利益）は17,349千円となりました。

■財団経常収支実績（単位：千円）

|              | 予 算     | 実 績     | 差 異    | 前年実績    |
|--------------|---------|---------|--------|---------|
| 経常収益         | 159,662 | 156,547 | ▲3,115 | 155,365 |
| 経常費用         | 143,940 | 139,198 | ▲4,742 | 146,255 |
| 当期経常増減額（税引前） | 15,722  | 17,349  | 1,627  | 9,110   |

9. 法人会計（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計）

理事会・評議員会等の開催

・2019年度 第1回理事会

開催日：2019年3月3日（日）

開催場所：京都ホテルオークラ

決議事項：2018年度事業報告についての承認

同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認

財団評議員任期満了に伴う改選についての承認

財団役員（理事及び監事）任期満了に伴う改選についての承認

2019年度定時評議員会招集についての承認

出席：理事12名（総数15名）、監事2名（総数3名）他

・2019年度 定時評議員会

開催日：2019年3月21日（木）

開催場所：ホテルグランヴィア大阪

決議事項：2018年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認

財団評議員の選任についての承認

財団役員（理事及び監事）の選任について承認

報告事項：2018年度事業報告

今後の財団活動

出席：評議員4名（総数5名）、監事2名（総数3名）、理事会側から理事長他

・2019年度 第2回理事会

開催日：2019年3月28日（木） 決議の省略による開催

決議事項：会長、理事長（代表理事）の選定についての承認

・2019年度 第3回理事会

開催日：2019年11月9日（日）

開催場所：リーガロイヤルホテル（大阪）

決議事項：金田博夫研究助成基金の新しい考え方についての承認

2020年度事業計画についての承認

出席：理事7名（総数7名）、監事3名（総数3名）他

法人会計収支は、16,554千円の寄付金等収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等53,561千円の管理費を計上。当期経常増減額（税引前営業利益）は▲37,007千円となりました。



■財団経常収支実績 (単位：千円)

|               | 予 算     | 実 績     | 差 異    | 前年実績    |
|---------------|---------|---------|--------|---------|
| 受取寄付金他        | 15,012  | 16,554  | 1,542  | 15,317  |
| 管理費           | 61,033  | 53,560  | ▲7,472 | 60,502  |
| 当期経常増減額 (税引前) | ▲46,021 | ▲37,007 | 9,014  | ▲45,185 |

Ⅲ 寄付金収入

1. 寄付金

下記団体および個人より合計 40,298 千円 の寄付金を受け取りました。

|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| ・ サンスター株式会社                   | 22,210 千円 |
| ・ STARLECS 株式会社               | 15,000 千円 |
| ・ Sunstar Singapore Pte. Ltd. | 2,000 千円  |
| ・ 個人                          | 1,088 千円  |

■当財団人員数(2019年12月31日現在 常勤職員及び出向社員)

|       | 千里歯科<br>診療所 | 予防<br>事業部 | 健康<br>推進室 | 事務局 | 合計   |
|-------|-------------|-----------|-----------|-----|------|
| 歯科医師  | 5 人         |           |           |     | 5 人  |
| 歯科衛生士 | 16 人        | 14 人      | 1 人       |     | 31 人 |
| 保健師   |             |           | 2 人       |     | 2 人  |
| 事務職他  | 3 人         | 1 人       | 6 人       | 5 人 | 15 人 |
| 合計    | 24 人        | 15 人      | 9 人       | 5 人 | 53 人 |

Ⅳ 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科保健活動

|                       |         |            |
|-----------------------|---------|------------|
| ①企業・団体の事業所での歯科健診      | 225 事業所 | 31,866 人   |
| ②団体での通信講座による歯科健診・保健指導 | 5 件     | 14,911 人   |
|                       | 計 230 件 | 計 46,777 人 |

(2) 8020 運動啓発等の歯科保健活動

|                          |         |            |
|--------------------------|---------|------------|
| ①量販店の顧客に対する個別および集団歯科保健指導 | 65 件    | 13,761 人   |
| ②地域・保健所・歯科医師会等での歯科保健指導   | 18 件    | 1,014 人    |
| ③企業での歯科保健指導              | 18 件    | 468 人      |
| ④得意先・イベント等での歯科保健指導       | 31 件    | 2,362 人    |
| ⑤社内行事等における歯科保健指導         | 16 件    | 239 人      |
| ⑥病院職員・患者様向け歯科保健指導        | 5 件     | 283 人      |
|                          | 計 153 件 | 計 18,127 人 |

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

|                         |         |            |
|-------------------------|---------|------------|
| ①保育園・幼稚園・母親教室における歯科保健指導 | 29 園    | 5,621 人    |
| ②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布  | 146 校   | 13,854 人   |
| ③障がい児(者)施設における歯磨き指導     | 1 件     | 30 人       |
|                         | 計 176 件 | 計 19,505 人 |

(4) 主な研究発表・講演

|      |                        |        |
|------|------------------------|--------|
| 4 月  | 日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会教育講演 | 鈴木 大月  |
| 6 月  | 日本臨床歯周病学会年次大会 ポスター発表   | 茨木     |
|      | 岡山大学歯学部同窓会大阪府支部総会 講演   | 鈴木     |
|      | 新大阪歯科衛生士専門学校 講演        | 野田     |
| 7 月  | 日本糖尿病療養指導士学術集会 ポスター発表  | 福池     |
|      | みなとみらいインプラントアカデミー 講演   | 鈴木     |
| 9 月  | 日本歯科衛生学会学術大会           | 茨木     |
|      | 口頭発表                   |        |
|      | ポスター発表                 | 佐々木 八木 |
| 10 月 | 日本小児歯科学会近畿地方会 ポスター発表   | 茨木     |
| 11 月 | 日本臨床歯周病学会 関西支部会 口頭発表   | 佐々木    |
| 12 月 | 岡山大学病院口腔インプラント講習会 講演   | 鈴木     |

(5) 主な学会・講演会参加

|      |                            |                                   |
|------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1 月  | 大阪府歯科衛生士会学術集会 (大阪)         | 福池・野田                             |
|      | タイ・オーラルヘルスフォーラム (バンコク)     | 鈴木・茨木・河合                          |
| 4 月  | 日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会 (大阪)    | 鈴木・福池・野田・茨木・徳岡・<br>西田・藤原・八木・土本・岡藤 |
| 5 月  | 第 128 回日本補綴歯科学会 (札幌)       | 鈴木                                |
|      | 第 62 回春季日本歯周病学会 (横浜)       | 福池・岡田・吉村                          |
| 6 月  | 第 30 回日本老年歯科医学会 (仙台)       | 福池 今藤                             |
|      | 第 57 回日本小児歯科学会 (札幌)        | 高島・茨木                             |
|      | 第 37 回日本臨床歯周病学会 (札幌)       | 鈴木・茨木・福池                          |
|      | 第 150 回日本歯科保存学会 (石川)       | 三宅                                |
|      | 第 94 回日本医療機器学会 (大阪)        | 野田                                |
| 7 月  | 第 7 回日本糖尿病療養指導士学術集会 (福岡)   | 福池・野田・土本                          |
| 8 月  | 第 21 回歯科衛生国際シンポジウム (ブリスベン) | 福池                                |
| 9 月  | 第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会    | 福池                                |
|      | 第 14 回日本歯科衛生学会             | 福池・野田・茨木・岡藤・西田・八<br>木・池田・河合・小菅・上原 |
|      | 第 13 回アジア太平洋歯周病学会 (マレーシア)  | 鈴木・大月・茨木                          |
| 10 月 | 糖尿病療養指導士更新研修 (大阪)          | 福池、野田・岡田・吉村                       |
|      | 第 62 回秋季日本歯周病学会 (北九州)      | 野田・岡田・吉村                          |
| 11 月 | 第 151 回日本歯科保存学会 (福岡)       | 三宅                                |
|      | 日本糖尿病学会第 56 回近畿地方会 (大阪)    | 福池・岡田・吉村                          |
|      | 日本口腔インプラント学会近畿北陸支部大会 (大阪)  | 岡田・吉村                             |

第 30 回日本審美歯科学会（東京）

日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会（大阪）

茨木

鈴木・福池・野田・茨木・西田

以上